

令和5年度 第4回ミニラグビー6年生合同練習会 レポート

3月20日(水)、高鍋町小丸河畔運動広場に於いて、ラグビースクールの6年生を対象とした第4回合同練習会を開催し、県内5スクール、40名の参加がありました。

これは、2027年国スポのターゲットエージである6年生がラグビーの楽しさを再認識することはもちろん、スクールの垣根を越え、仲間を作り、自身のレベルの位置を知ることにより、中学校、高校での強化練習をスムーズに進めていくことを目的としています。

今年度は全体練習会を6月に実施し、9月に県南3スクールで鹿児島遠征、12月に県北3スクールで大分遠征を行ない、今回が最後の合同練習会となりました。

今回も昨年同様、コーディネーショントレーニング、キックトレーニングを行い、最後に40名を3チームに振り分け、フルコートで12人制のアタック・ディフェンスを行ないました。

2週間前の宮日杯から比べるとパス、ランニング、コンタクト、コミュニケーション能力など選手全員が飛躍的な成長を遂げており、12人制、フルコートでも適応していました。

また、今回は強化少年担当でもある高鍋高校ラグビー部監督の檜室先生をオブザーバーとして迎え、選手たちに「ターゲットエージであること」、「高校進学は県内に残ってもらうこと」を再認識してもらうお言葉をいただきました。

来年度は中学校で国スポターゲットエージが3学年揃う年でもあります。さらなる小中高連携した事業を展開していきたいと思えます。

参加された選手、コーチ、保護者の皆様、本当にお疲れ様でした。

【普及育成委員長:甲斐 俊大/運営:ミニ部門長 中瀬 修/撮影:広報委員 黒岩啓輔】